

釧路市教育委員会 平成30年第10回6月定例会会議録

1 日時：平成30年6月29日（金）13時00分から14時20分まで

2 会場：釧路市教育委員会室

3 出席者

岡部義孝教育長

（教育委員）

山口隆委員、松尾千穂委員、種村俊仁委員、小出美貴子委員

（事務局）

高玉学校教育部長、高松教育指導参事、江縁学校教育部長、
藤岡総務課長、高木教育施設調整主幹、小野施設計画主幹、
土江田総括指導主事、坂本青少年育成センター所長、仲谷学校教育課長、
澤口生涯学習課長、松本オープンカレッジ推進主幹、永井美術館長、
工藤スポーツ課長、北澤国体推進室長、戸田学芸主幹、
古賀動物園長、牧野阿寒生涯学習課長、山田音別生涯学習課長

4 議事録署名人 松尾委員、種村委員

5 傍聴人数 0人

6 提出案件

【公開案件】

報告事項

- (1) 平成30年第2回釧路市議会6月定例会の議決結果について
- (2) 平成30年第2回釧路市議会6月定例会の審議内容について
- (3) 学校施設及び通学路におけるブロック塀等の安全点検等について
- (4) 釧路市民文化会館ネーミングライツスポンサーの募集について
- (5) エンジン01in 釧路合同記者会見の実施について
- (6) 釧路市動物園の展示動物の動向等について
- (7) 学校の現状について

7 会議内容

【公開案件】 報告事項

- (1) 平成30年第2回釧路市議会6月定例会の議決結果について
- (2) 平成30年第2回釧路市議会6月定例会の審議内容について

(藤岡総務課長)

先の5月定例教育委員会において議案として審議、承認いただいた教育委員会に関わる補正予算案合計6件の議案について、釧路市議会6月定例会において、全て原案どおり可決、承認されたことをご報告する。

引き続き、審議内容について、学校教育部長と生涯学習課長から報告する。

(高玉学校教育部長)

平成30年第2回釧路市議会6月定例会、学校教育分に関わる一般質問の概略を説明する。

市民連合議員団 岡田遼議員より、就学に対する支援に関して、国に対する奨学金の拡充の要請と入学準備金の入学前支給についてご質問があり、私より、奨学金については、今後とも国の動向をしっかりと注視していくとともに、全国市長会とも連携を図りながら、機会をとらえて要望してまいりたい、入学準備金については、二重受給などの課題を一定程度解決できる見通しが立ったこと、さらには、今年度早々に道教委からも実施に向けた働きかけがあったことから、新中学生に対して、来年3月の支給実施に向け、検討してまいりたい旨、お答えした。また、新小学生に対しては、今後とも、他都市の状況を参考としながら検討してまいりたい旨、お答えした。

日本共産党議員団 工藤正志議員より、中学校の制服価格等の問題に関して、価格やリサイクル市の実施、保護者の負担軽減についてご質問があり、私より、価格については制服のほかジャージと上靴をすべて揃えると、約6万円になること、リサイクル市などの実施については、PTAが主体的に取り組んでいる事例を、釧路市PTA連合会へ情報提供してまいりたい旨、お答えした。

また、教育長より、道議会本会議における「保護者の負担軽減に十分配慮する必要がある」との当時の教育長のご答弁、その思いは、私も全く同様であり、そのような思いから、今回、新中学生に対し、入学前支給に向けた検討を行っていくとの一定の判断をしたこと、さらには、今後ともこのような取り組みを通して保護者負担の軽減に向けては意を用いていくべき必要がある旨、お答えした。

市民連合議員団 宮田団議員より、セクシャルマイノリティ施策に関して、学校現場での啓発活動の実施状況等についてご質問があり、私より、「総合的な学習の時間」に、「マイノリティ」への理解を深める学習活動を行うほか、学級活動や日常的な指導の中でさまざまな個性を認め合うなど、きめ細やかに取り組んでいる旨、お答えした。

日本共産党議員団 梅津則行議員より、平和推進における「語り継ぐ」事業に関して、デジタル化した記録を小中学校の総合学習で活用してはとのご質問があり、私より、郷土読本くしろなど、これまで活用してきたさまざまな教材をもとに、平和に関する教育をさらに充実させていきたい旨、お答えした。

また、教育長より、戦争体験の伝承者が少なくなっており、映像や音声でどのようなことができるか検討してまいりたい旨、お答えした。

ここまでが、本会議一般質問の概略である。

次に総務文教常任委員会 市長総括について説明する。

新創クラブ 森 豊議員より、6月の運動会の開催時期を数週間ずらすことについてご質問があり、教育長より、学校の行事については、1年間の流れを総合的に見て設定しているものであり、6月の運動会日程では、今年6月第4週に開催する学校もある。その学校を参考とし、時期をずらす方向で校長会に申し入れをしてまいりたい旨、お答えした。

(澤口生涯学習課長)

平成30年第2回鉏路市議会6月定例会、生涯学習分に関わる一般質問の概略を説明する。

公明党議員団 河合初恵議員より、公共施設における、キッズミュージアム、キッズスポーツなど、幼児対象の講座や託児付き講座について、ご質問があり、生涯学習部長より、キッズスポーツについては、湿原の風アリーナで今年度から幼児を対象とした運動講座を開設し、お子さんの安全確保の観点からも観覧や見守りをお願いしているところであり、離れたトレーニング室などで親御さんにリフレッシュをしていただくことは難しい状況にあるが、親御さんのリフレッシュも大切な視点であるので、他都市の動向などを引き続き注視して参りたい旨、お答えした。

また、生涯学習センターでは、託児付きの「いきいきライフ講座」を子育て応援プログラムとして開催し、さらに市立美術館では、工作イベント「ペキタキッズ工房」を開催し、子育て世代と一緒に美術と触れ合う機会を提供しており、こうした事業の充実に努めてまいりたい旨、お答えした。

次に、中央図書館における、月曜開館と中心市街地の活性化についてご質問があり、生涯学習部長より、中央図書館は、現在、毎週月曜日は閉館しているが、祝日の場合は開館していること、また、開館日の周知については、広報くしろやホームページ、フェイスブック、施設内における掲示物等によりお知らせしているが、祝日の月曜に開館していることが、より浸透するよう引き続き機会あるごとにPRしたい旨、お答えした。

また、図書館が北大通に移転した目的のひとつとして、中心市街地の活性化があり、現在、イベント等で商店街と連携できるよう協議を進めている旨、お答えし、さらに、市長より、図書館が中心市街地活性化に寄与するのに、どのような形で進めていくことができるのか、しっかり研究していくことが必要である旨、お答えした。

次に、中央図書館と駐車場間の安全対策と安全確保についてご質問があり、生涯学習部長より、利用者の安全確保のため、横断歩道並びに速度規制に係る標識の新規設置を鉏路警察

署へ要望書を提出し、早期に設置されるよう求めているところである旨、お答えした。

市政進クラブ 松永征明議員より、公共施設のバリアフリー化における、阿寒町公民館のエレベーター設置についてご質問があり、生涯学習部長より、エレベーターの設置は難しいものの、別な形での対応の研究や、職員による介助体制をしっかりと行ってまいりたい旨、お答えした。

日本共産党議員団 梅津則行議員より、市立図書館における緊急避難対応についてご質問があり、生涯学習部長より、中央図書館が入居する新釧路道銀ビルにおける緊急避難時の対応については、災害等の非常時には、1階防災センターに設置している開錠ボタンにより、一斉開錠することができ、また建物火災時には、火災報知器との連動により、自動ですべてのドアが開錠することで、避難経路が確保されていること、そして、中央図書館の指定管理者と建物所有者が緊急避難対応を連携して行えるよう、しっかりと関わりたい旨、お答えした。

◎特に意見なし。

【公開案件】 報告事項

(3) 学校施設及び通学路におけるブロック塀等の安全点検等について

(小野教育施設計画主幹)

平成30年6月18日発生の「大阪府北部地震」に伴う大阪府高槻市の小学校において発生した「コンクリートブロック塀」の下敷きになって9歳の児童が死亡する事故を受けての釧路市における学校施設内及び通学路におけるブロック塀の対応状況についてご説明する。

まず、学校施設におけるブロック塀の設置状況についてである。

18日の事故発生を受け、釧路市教育委員会においては、文科省からの通知に先駆けて、翌19日に市内小中学校施設におけるブロック塀の設置状況を確認した。その結果、市内の小中学校においては、ブロック塀の設置件数は「0件」であったことを確認しているところである。

また、小中学校以外の教育委員会所管施設においても、20日までにブロック塀の設置状況について確認をしたが、これについてもなかったことを確認している。

なお、文科省から通知については、北海道教育庁を通じて20日に通知されており、「学校施設の適切な維持管理」「通学路の安全確保」について、対策や指導を徹底するよう依頼されているところである。

総務課施設担当といたしては、今回のブロック塀倒壊の事象を受け、学校における児童生徒の安全が確保できるよう引き続き施設の維持管理、安全対策等に努めていきたいと考えているところである。

(仲谷学校教育課長)

学校教育課からは、通学路のブロック塀等の調査について、ご報告する。

19日に、各小中学校長宛に「通学路の緊急点検の実施について」通知し、現在調査をしているところである。今後については調査結果を集約し、対応について検討したいと考えている。

◎この報告について、各委員から次のとおり発言あり。

(山口委員)

教育委員会が所管する施設にはブロック塀がなかったということだが、現在通学路の民家のブロック塀を調査しているということで、民間の建物に教育委員会が意見することはできないと思うが、各学校で児童生徒の安全にかかわる対応ということで、学校への指導という部分では、教育委員会と連携していく必要があると思うので適切にお願いしたいと思う。

(松尾委員)

今回の事故はブロック塀での事故であるが、ブロック塀でなくても違うものが倒れてきたりすることもあると思うので、山口委員の言うとおりの民間の建物等についても危ないところはあると思う。学校のPTA等でも危険な場所の見回りをしているところもあると思うが、学校だけではなく保護者の方も地域の見回りをしてもらえればと思う。

(小出委員)

学校ごとに安全マップを作成しており、その中に防犯上のことだけではなく、危険箇所もチェックして安全マップを作るなど、そういうものを活用して安全対策に役立てていければいいと思う。

【公開案件】報告事項

(4) 釧路市民文化会館ネーミングライツスポンサーの募集について

(澤口生涯学習課長)

このたび、市としては、日本製紙アイスアリーナに次いで2件目の取り組みとなるネーミングライツスポンサーの募集を行うこととなった。

ネーミングライツの契約期間については、指定管理期間の残存年数である3年7か月としている。スポンサーの選定については、募集要項をもとに民間事業者より提案をいただき提案内容を総合的に評価し選定する、公募型プロポーザル方式により行う。ネーミングライツ料は、年額100万円以上を希望金額としている。

ネーミングライツスポンサーには、釧路市民文化会館に「愛称」を付与する権利と付帯する特典として愛称看板の設置、施設内でのスポンサー関連ポスターの掲示等の特典を想定している。

事業実施のスケジュールについては、現在、広告事業研究会による募集要項等の検討を行い、7月上旬に公募を開始し、選定委員会による審査を経て、7月下旬から8月上旬に事業

者を決定する。その後、9月上旬から愛称の使用が開始される予定となっている。

なお、広告収入については、雑入として受けることとなる。

◎特に意見なし。

【公開案件】 報告事項

(5) エンジン01in 釧路合同記者会見の実施について

(松本オープンカレッジ推進主幹)

去る6月26日(火)、釧路プリンスホテルにて、地元側の実行委員会と、東京のエンジン01文化戦略会議側の実行委員会合同による、第1回目の合同記者会見を実施した。

記者会見においては、勝間和代 実行委員長より、「エンジン01文化戦略会議オープンカレッジin 釧路」としていた名称を、「エンジン01in 釧路」に変更したこと、また、今回の基本コンセプト及びテーマスローガンなどについて説明があった。

名称については、これまで「エンジン01文化戦略会議オープンカレッジin 釧路」として準備を進め、これまでの定例教育委員会等においても、同様に説明させていただいてきたところである。このたび、主催者である東京のエンジン01文化戦略会議において、この名称を「エンジン01in 釧路」に改名する旨が決定したことから、行事名とともに、地元として組織している実行委員会名についても、同様に名称の変更を行っている。

開催テーマについては、「あたらしくしろ」となっており、基本コンセプト及びスローガンでは、アイヌ文化や神秘的な自然など、釧路ならではの観点で考えられたものとなっている。

また、北海道命名150年を記念したものであることも明記されるなど、市のみならず北海道全体をも見据えたものとなっている。この基本コンセプトなどに基づき、今後、講座などの内容が検討されており、8月下旬に予定している第2回目の合同記者会見において、開催内容やプログラムなどについて発表することとしている。

◎特に意見なし。

【公開案件】 報告事項

(6) 釧路市動物園の展示動物の動向等について

(古賀動物園長)

私からは、まずチャップマンシマウマの再導入について報告する。

平成26年に国内最高齢の35歳でチャップマンシマウマの雌が死亡して以来、釧路市動物園では1頭の雌のグラントシマウマ(コナツ)を飼育していた。これまでチャップマンシ

マウマの再導入に向けて、個体を貸与してもらえる動物園を捜していたが、ようやく貸与してもらえる雌個体（ナナミ）が見つかり、今月22日に大阪府みさき公園から搬入された。飼育環境に慣れさせるため25日からは、屋外での飼育訓練を開始した。屋外に出した直後は2頭とも興奮状態だったが、警戒しながらも30分ほどで落ち着いた。26日には屋外にある餌箱から生の草や干し草を食べるなど、慣らし訓練は順調に進んでいた。27日も2頭は朝から落ち着いていたが、午後3時過ぎにナナミを収容する直前、2頭が突然興奮状態となり、ナナミはすぐに寝室に入ったが、その直後にふらつき、倒れそのまま息を引き取った。解剖所見では体の各所に筋肉の融解がみられ、それが直接の死因と考えている。しかし、これが起こった原因については不明である。

釧路市動物園では今回待望のチャップマンシマウマを貸与によりようやく再導入できただけに誠に残念である。

次に、長野市茶臼山動物園に繁殖貸与している、雄のアムールトラのリングについてである。リングと茶臼山動物園のメス「ミライ」との間に、6月24日4頭の赤ちゃんが生まれ、うち一頭が26日の夜に亡くなったとの連絡があった。死因についてはまだわかっていない。また、他の個体の性別については未確認である。

帰属については、無事成育したら協議により決定する。釧路市動物園には、現在、空いた飼育ケージがないため、成育後に日本動物園水族館協会のアムールトラの種別計画管理者と相談しながら対応を考えることになる。

◎特に意見なし。

【公開案件】 報告事項

(7) 学校の現状について

(高松教育指導参事)

まず初めに、少年の主張釧路市大会について報告する。

6月2日(土)、少年の主張釧路市大会が市民文化会館にて開催された。各中学校の代表生徒16名が、それぞれの思いや考えを堂々と発表してくれた。

今年度も、「日常の当たり前への感謝」、「障害への理解」、「自分自身の振り返り」、「政治と国際平和」など、幅広いテーマに基づいた発表となった。どの発表も素晴らしく、本当に拮抗した審査結果だった。なお、入賞した発表をより多くの市民、生徒に聞いてもらいたいことから、FMくしろで扱っていただき、オンエアしているところである。

次にキッズタウン2018の開催について報告する。

未来を担う子どもたちが、働くことの喜び・苦労などの体験を通して、社会への興味を高める職業体験事業「キッズタウン2018」が7月29日(日)、国際交流センターで開催される。子どもたちが各ブースでさまざまな職業体験を行い、体験で得た疑似通貨を使って、

他の店舗買い物を行うなど消費体験を行うもので毎年盛況であり、20を超える企業や団体の協力を得ながら行っている。委員の皆さまにおかれましては、ご都合がございましたら、ご来場いただき、子どもたちの取り組む姿をご覧いただきたい。

次に算数・数学検定の寄贈について報告する。

2年前に釧路ロータリークラブ80周年を記念して、実用数学技能検定が寄贈され、希望する子どもたちに検定機会を提供したが、昨年度に引き続き、釧路ロータリークラブより100万円相当が寄贈されることとなった。

対象は小学校5・6年の児童30%を対象とし、11月の金曜日実施を基本としながら、小学校全校を会場とすることを想定している。寄付受納式後、夏休み前までに保護者に案内を配布し、2学期以降の申し込み集約を想定しているところであり、積極的な活用を促していきたいと考えている。

最後に小学校の運動会について報告する。

市内小学校の運動会は、6月第2週9日（土）から始まり、24日（日）の東雲小学校をもって終了した。外国語活動の時間確保のため札幌市の小学校では午前開催としたことが報道されるなど、これまでとは違った意味で注目される場所もあったが、開催当日の気温が低く、開催時期に関わる議会論議等を含め、先日の校長会で開催時期の検討をお願いしたところである。

◎この報告について各委員から次のとおり発言あり。

（山口委員）

少年の主張について、できるだけ多くの人に発表内容を聞いてもらうため、FMくしろに協力をしてもらおうということはすごくいいことだと思うが、FMくしろでオンエアしたとしても聞く人と聞かない人がいる。例えば例年やっている子ども大集会で、少年の主張でぜひ聞かせたいという内容のものを発表してもらおうなどそのような計画は今年度あるのか。

（高松教育指導参事）

2年前からテーマの話し合いに沿った発表を入れているので、そのような方向で考えていきたいと思う。

（山口委員）

釧路キッズタウンの参加募集ということで、去年初めてキッズタウンに参加したが、各社の協力を得て、非常にいいイベントだと思った。子どもたちにいろんな職業体験をさせるということは、一つの生き方指導だと思う。生き方指導というのは、どういう願いをもってやるのかというと、社会のルールをちゃんと守って立派な社会人として自立する、その指導の一環だと思うが、付添いの保護者のルール違反が目に見えるものがあり、自分の子どもさえよければいいというような感じで、会場内に入らないでくださいと言っているのにもかかわらず、自分の子どもがいるところを映像で撮るために無視して入っていく。そういう親のルールを無視した姿というのは、子どもにどういう影響を与えて子どもがどんな成長をするのか考え

たとき、少し心配になった。学校で参加募集するときに、保護者の方にも同時に付き添う際にはルールを守って付き添ってくださいと、そういう親の姿を子どもに見せるのも大切なことだと、そういう意識の啓発も併せてやる必要があると思う。

(高松教育指導参事)

担当からは昨年この指導に関して、しっかり指導してほしい旨要望があり、当日お手伝いに入る職員も含めて保護者の方にもできるだけ意識を高めてもらうように実施したいと思う。

(小出委員)

私も去年見させてもらったが、子どもたちも楽しそうで、人数もたくさん来ていて大盛況だったのでとてもよかったのだが、その中で体験するのに人が並びすぎて自分が何もすることがないという子どもがいたりして、その辺を解消できるといいのではないかと思った。

(高松教育指導参事)

人気のブースだとなかなか入れずに時間を持て余す子もいるが、親の指導と併せて指導主事等で声かけをしながら運営していきたい。

(種村委員)

ロータリークラブの話で、去年も寄附をいただき数検を実施し、大変すばらしいことだと思うが、数検ではなく英検を実施するのはどうなのだろうか。大学入試が民間の英検を採用したりしており、一般的にも需要があると思う。将来的なことも考えてそういったことを多少提案することはできるのだろうか。

(高松教育指導参事)

寄贈の段階で算数数学でという先方の意図もあり、また実施にあたり初年度については、2,100人分の寄贈ということで、小学校の低学年から中学校までを範囲にしたことから、英語になると小学校低学年あたりがなじまないということで算数数学にした経過もある。

(松尾委員)

釧路キッズタウンについて、日程的に湿原マラソンとぶつかるので、行けていないが、ぜひ子どもたちにとってはいいキャリア教育の一環だと思うので、たくさん子どもたちに参加してほしい。

運動会の件について、たまたま今年が寒かっただけではないのか。時期まで変える必要があるのかと思った。たしかに去年もあまり天気ではなかったが、どうなのだろうか。

(岡部教育長)

自分が答弁したが、新聞に報じられたほどドラスティックな改革をしようという意図で答えたわけでもなく、はっきり言ったのは秋にずらしたいということではないということである。それから、例えば7月だとかそういう時期に動かしてしてほしいといったことでもない。かつ、教育委員会がどうということではなく、運動会を含めて学校行事というのは、全て年間を通したスケジュールの中で学校が主体的に決めているので、これまで通り学校で決めてもらうことだが、平年の気温をみると6月の2～3週目から比べたら、4週目くらいになると相当気温が上がってくる。天気なのでその年々でどうなるかはわからないが、実際6月の4週目に実施している学校も一部あり、そういった例も参考にしながら、ぜひ改めて検討い

ただきたいという話を今後校長会でしますという答弁をしたので、あまり強く言った話ではない。

(種村委員)

昔は6月30日くらいに実施していた気がするが、いつごろから2週目くらいになったのだろうか。

(高松教育指導参事)

前は6月の3週目あたりに市民大運動会があったころには、その関係で4週目に実施するところが多かったと校長会で聞いた。市民運動会がなくなってから早くなったのではないかと思う。

(山口委員)

愛国小学校と芦野小学校で、子どもが校区の線引きで別々の学校になった時、運動会の日がちが被らないようにする事案は解消されたのか。

(仲谷学校教育課長)

10年以上前に解消されている。

(小出委員)

運動会が土曜日開催に変わってきていると思うが、週をずらすことによって、部活動の大会等影響がでることはないのだろうか。

(高松教育指導参事)

小学校の運動会なので、少年団の野球の大会の実施状況を調べたところ、考慮されているのか6月の2～4週は空けてくれている。7月に入ると大会が入ったりしてくるので、6月いっぱいというのが線引きになるのではないかと思う。